

遺伝子組換え技術・農作物・食品
についてのアンケート
報告書

平成16年3月

社団法人農林水産先端技術産業振興センター

I. 調査概要

1. 調査の目的

組換え体の社会的受容を円滑に進めるため、アンケート調査を主体とした意識調査を実施し、それらの分析を通じて社会的受容の状況や組換え体に対する意識の変化、状況について把握する。また、遺伝子組換え農作物の社会的受容を得るために重要であると考えられる「遺伝子組換え食品に対する安心感」が得られるためには、どのような要因が影響を与えているのかを分析する。

2. 調査実施期間

平成 16 年 1 月 9 日（金）～1 月 30 日（金）

3. 調査対象者

全国の電話帳より等間隔抽出した一般消費者 5000 名

4. 調査実施の方法

郵送法

5. 回答者数

郵送 5,000 部

所在地及び転居先不明 299 部

アンケート実質送付部数：4701 部

アンケート回答数：1154 名

アンケート回収率：24.5%

II. 回答者属性

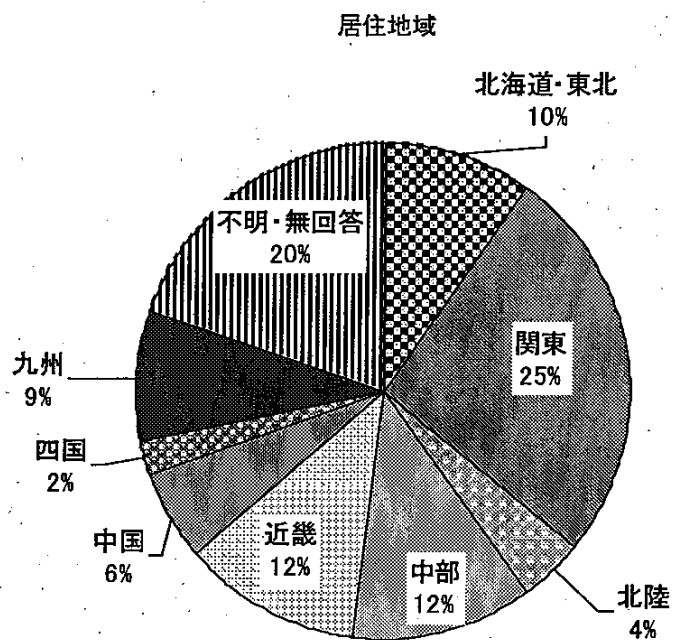
1. 性別

FS1	男性	女性	不明・無回答
人数(人)	818	313	17
割合(%)	71%	27%	1%

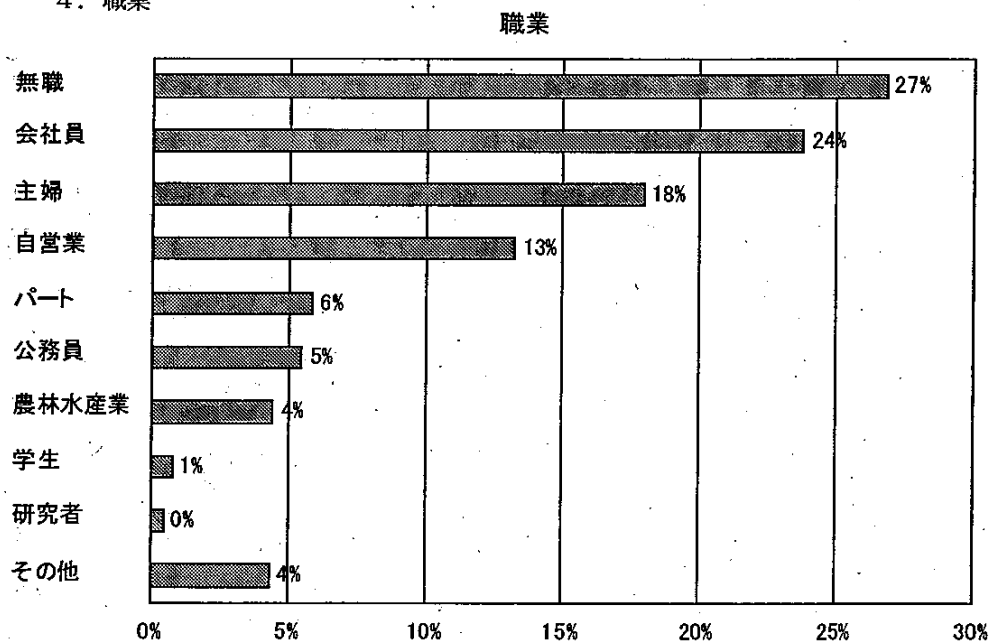
2. 年齢

FS2	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明・無回答
人数(人)	25	72	157	313	566	15
割合(%)	2%	6%	14%	27%	49%	1%

3. 居住地域



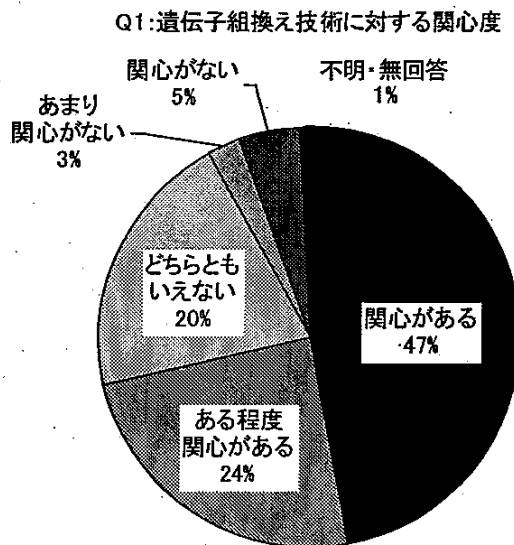
4. 職業



IV. 「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」調査結果

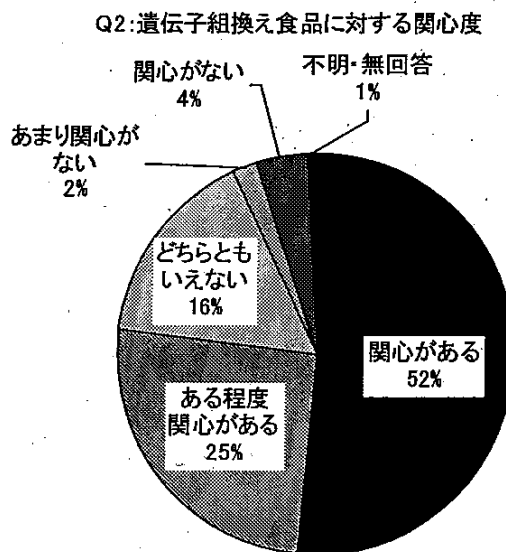
Q1：あなたは、遺伝子組換え技術について関心がありますか。

遺伝子組換え技術の関心については「関心がある」、「やや関心がある」を併せて71%と高い関心を示した。

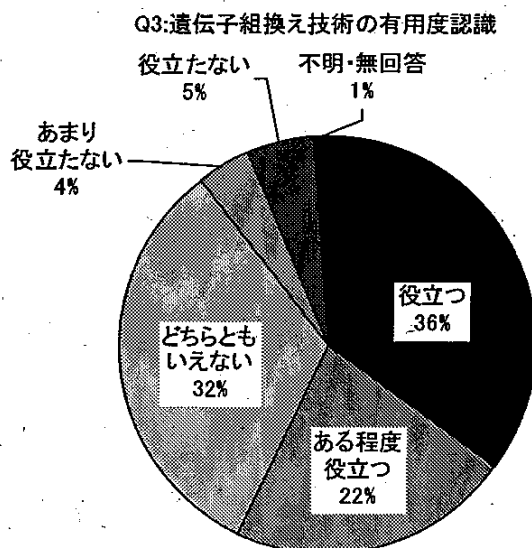


Q2：あなたは、遺伝子組換え農作物・食品について関心がありますか。

遺伝子組換え食品については、「関心がある」、「やや関心がある」が併せて、77%と遺伝子組換え技術に対する関心より高い関心を示した。



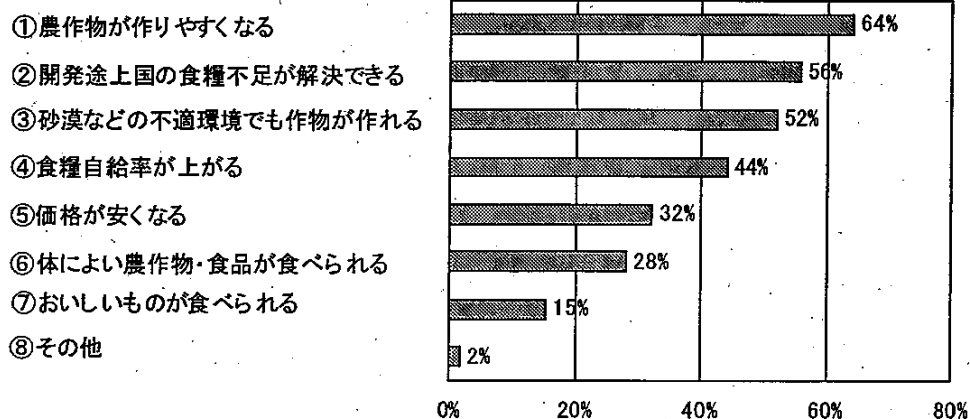
Q3: あなたは、遺伝子組換え技術は、農業・食品分野にとって役立つ技術だと思いますか。
 遺伝子組換え技術に関する有用度については、「役立つ」、「ある程度役立つ」が併せて、56%と半数の回答者が役立つと回答した。



Q4: Q3 で「役立つ」「ある程度役立つ」と答えた方にお聞きします。どのようなことで遺伝子組換え技術が役立つと思いますか。(複数回答可)

どのようなことに遺伝子組換え技術が役立つかについては、「農作物が作りやすくなる」「開発途上国の食糧不足が解決できる」「砂漠などの不適環境でも作物が作れる」「食糧自給率が上がる」など生産者に対するメリットが上位を占めた。

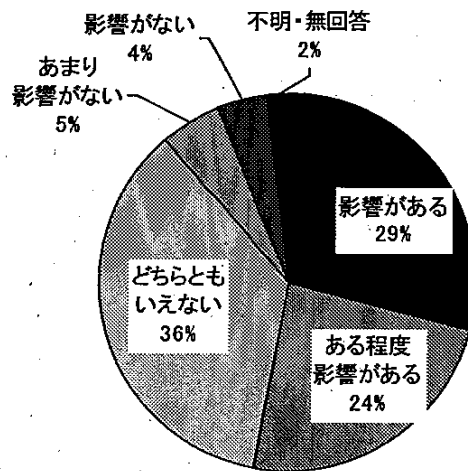
Q4: 役立つ理由



Q5：Q3 で「役立たない」「あまり役立たない」と答えた方にお聞きします。なぜ役立たないと思いますか。（自由記載：23 頁参照）

Q6：遺伝子組換え農作物を栽培することによって環境への悪影響があると思いますか。
遺伝子組換え農作物を栽培することに対する環境への悪影響については、「影響がある」「ある程度影響がある」が併せて 53%であった。

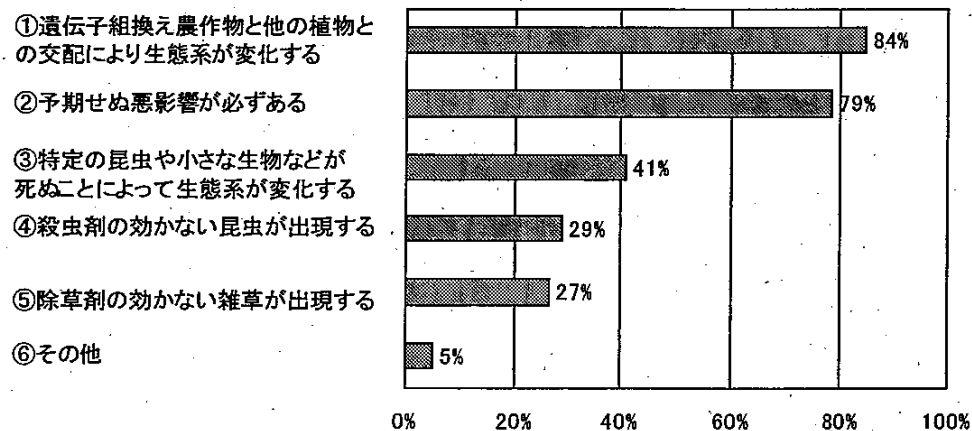
Q6：遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境への懸念



Q7：Q6 で「影響がある」「ある程度影響がある」と答えた方にお聞きします。どのような影響があると思いますか。（複数回答可）

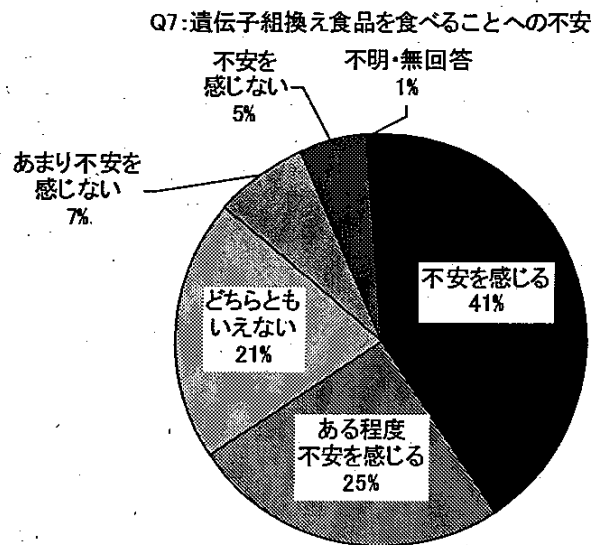
環境への影響の種類については、「遺伝子組換え農作物と他の植物との交配による生態系への影響」が 84%、「予期せぬ悪影響」が 79%と高い回答を示した。

Q7：遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境影響の種類



Q8：現在、流通している遺伝子組換え食品は食用油の原料として外国から輸入され、生産者が栽培しやすいように、除草剤耐性を持つものや害虫に対する抵抗性を強化したものがほとんどです。あなたはこのような遺伝子組換え食品を食べることに不安を感じますか。

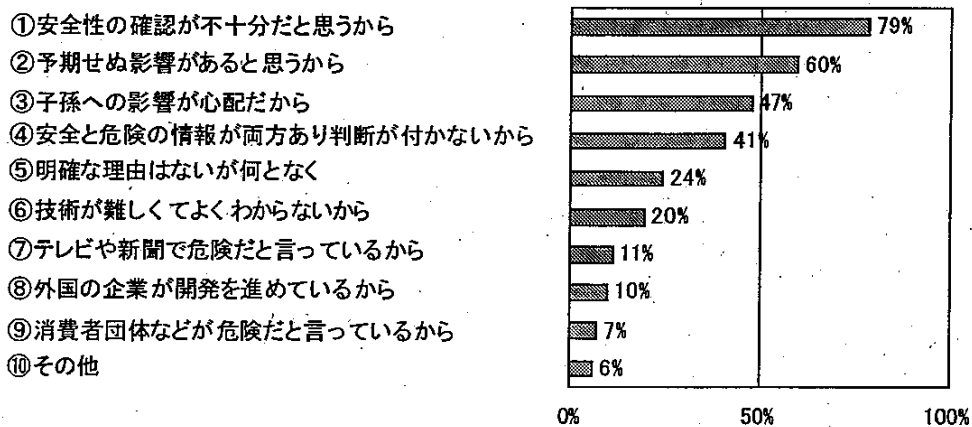
遺伝子組換え食品を食べることへの不安については、「不安を感じる」「ある程度不安を感じる」が併せて65%であった。



Q9：Q8 で「不安を感じる」「ある程度不安を感じる」と答えた方にお聞きします。あなたが不安を感じる理由は何ですか。（複数回答可）

遺伝子組換え食品を食べることへの不安については、「安全性の確認が不十分」が79%、「予期せぬ影響があるから」が60%と高い回答を示した。

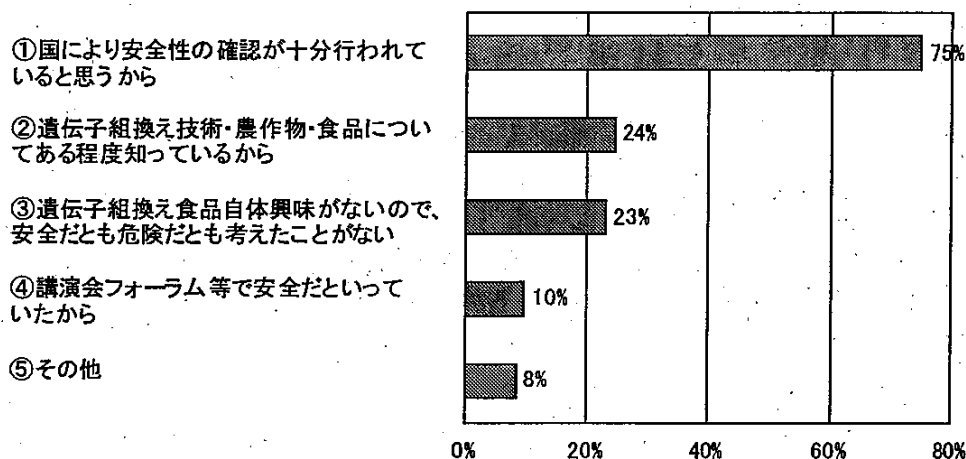
Q9: 遺伝子組換え食品を食べることへの不安の種類



Q10：Q8で「不安を感じない」「あまり不安を感じない」と答えた方にお聞きします。あなたが不安を感じない理由は何ですか。（複数回答可）

不安を感じない理由については、「国により安全性の確認が十分行われていると思うから」が75%と高い回答を示した。

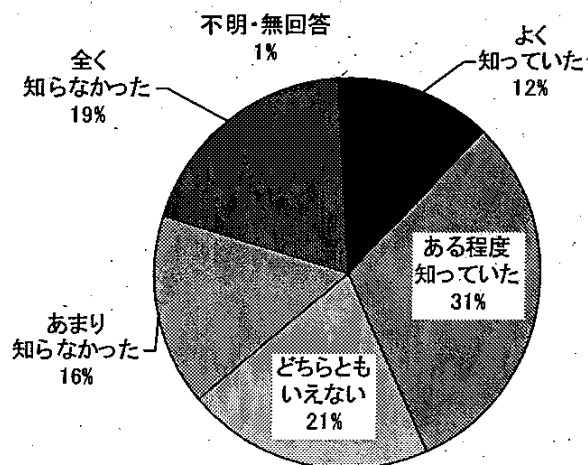
Q10：遺伝子組換え食品を食べることに不安を感じない理由



Q11：遺伝子組換え技術・農作物・食品の安全性については、法律等に基づき関係省庁が安全性を確認していることを知っていましたか。

遺伝子組換えに関する安全性の確認を法律等に基づき関係省庁が安全性を確認していることを知っていたかについては、「よく知っていた」「ある程度知っていた」が併せて43%であったが、「知らなかった」「あまり知らなかった」という回答も35%であった。

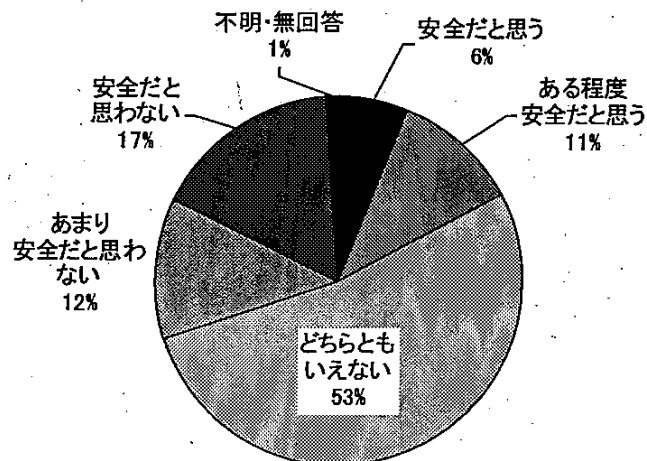
Q11遺伝子組換えに関する法制度の認知度



Q12：遺伝子組換え技術は、科学的に安全な技術だと思いますか。

遺伝子組換え技術が科学的に安全な技術かどうかについては、半数の回答者が「どちらともいえない」としながらも、30%の回答者が「安全だと思わない」「あまり安全だと思わない」と回答した。

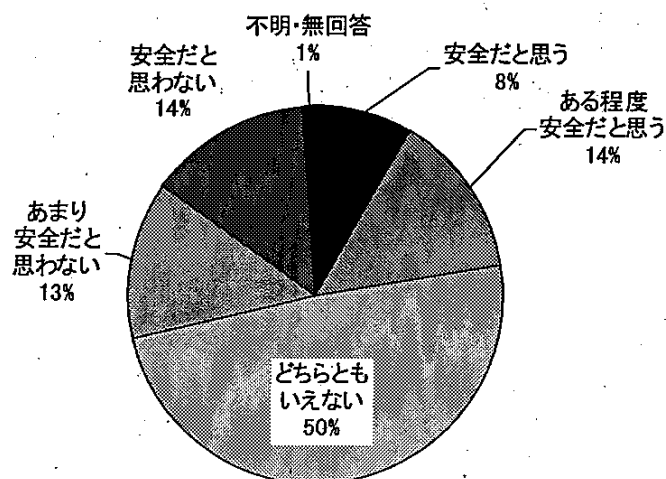
Q12:遺伝子組換え技術に対する安全認知度



Q13：現在、食用油などとして流通している遺伝子組換え食品は安全だと思いますか。

遺伝子組換え食品の安全性については、半数の回答者が「どちらともいえない」と回答した。

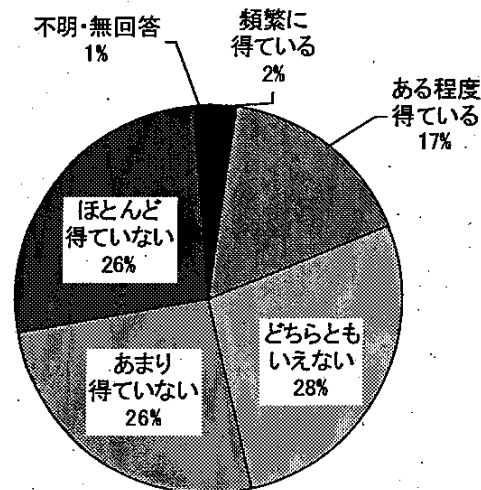
Q13:遺伝子組換え食品に対する安全認知度



Q14：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報を、どのくらいの頻度で得ていますか。

遺伝子組換えに関する情報の入手頻度については、「ほとんど得ていない」「あまり得ていない」が併せて52%であった。

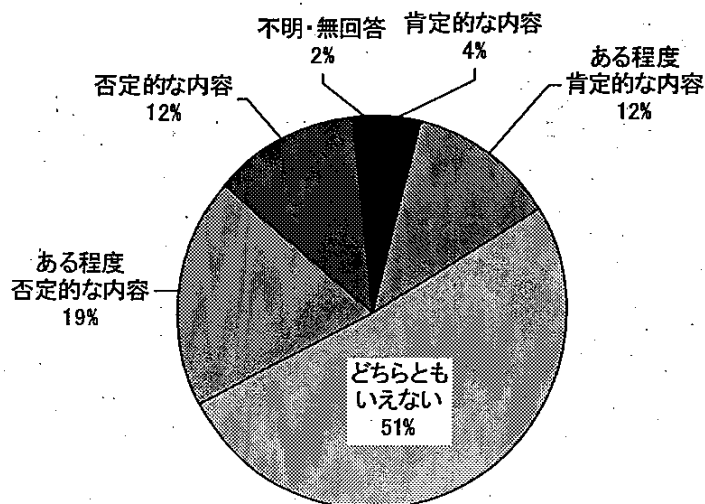
Q14:遺伝子組換えに関する情報入手の頻度



Q15：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品について得ている情報は肯定的内容が多いですか、それとも否定的な内容が多いですか。

遺伝子組換えに関する情報の内容については、半数が「どちらともいえない」と回答したものの、31%が「否定的な内容」「ある程度否定的な内容」と回答した。

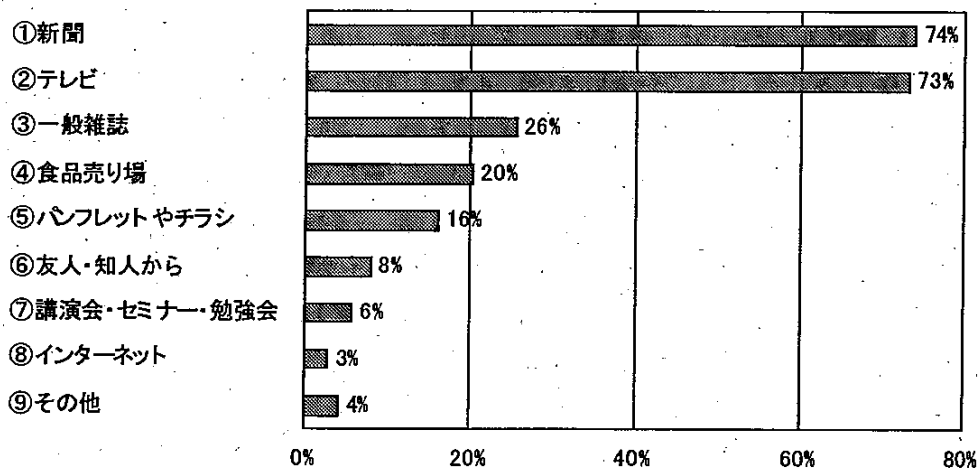
Q15:遺伝子組換えに関する情報内容



Q16：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品について主にどこから情報を得ていますか。（複数回答可）

遺伝子組換えに関する情報については、「新聞」が74%、「テレビ」が73%と情報収集源はマスメディアである、という回答が多かった。

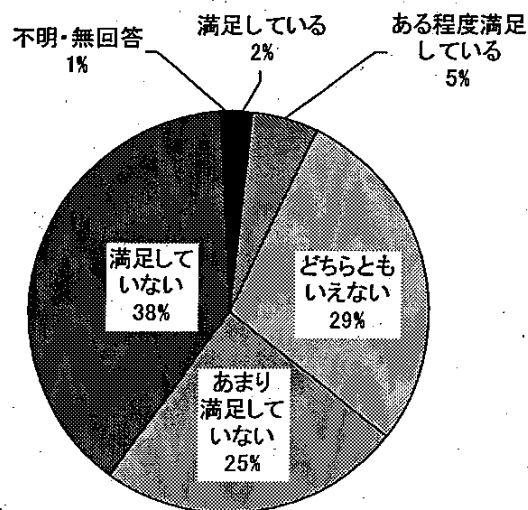
Q16: 遺伝子組換え関連の情報収集源



Q17：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品について得ている情報の内容に満足していますか。

現在得ている遺伝子組換えに関する情報の満足度については、63%が満足していない傾向にある。

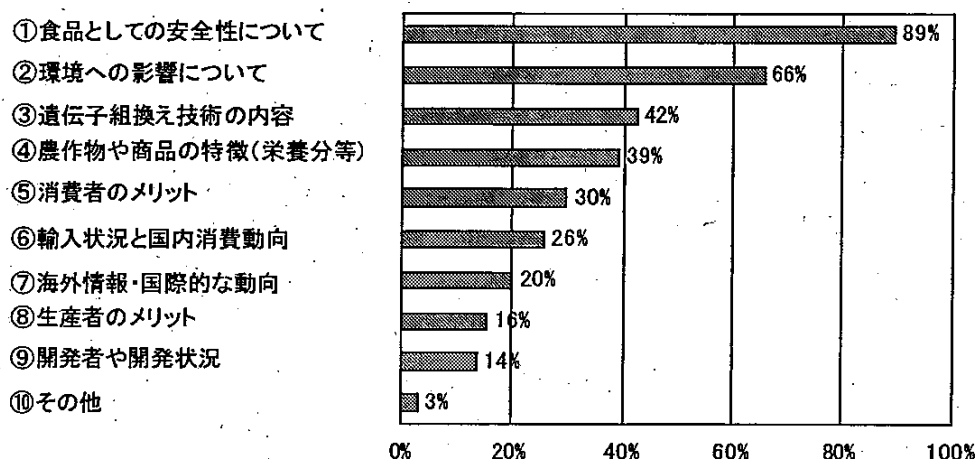
Q17: 情報に対する満足度



Q18: あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品についてどのような情報が欲しいですか。
(複数回答可)

遺伝子組換えに関して得たい情報の内容については、「食品としての安全性」が89%、「環境への影響について」が66%であった。消費者の食に対する安全の関心は依然として高いことがうかがえる。

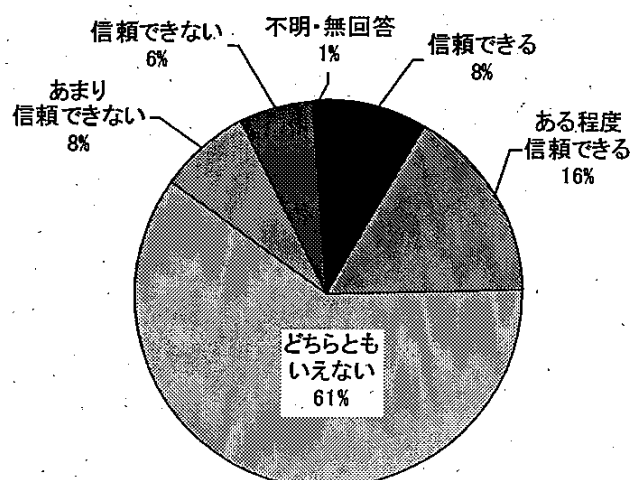
Q18: 必要とする遺伝子組換え関連情報



Q19: 遺伝子組換え農作物・食品についての研究を行っている研究者を信頼できますか。

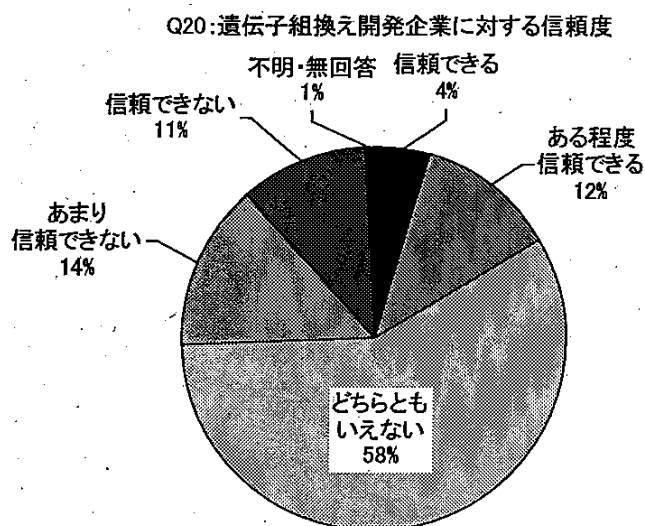
遺伝子組換えに携わる研究者の信頼度については、61%の回答者が「どちらともいえない」と回答したが、24%の回答者が「信頼できる」「ある程度信頼できる」と回答した。

Q19: 遺伝子組換えに関する研究者の信頼度



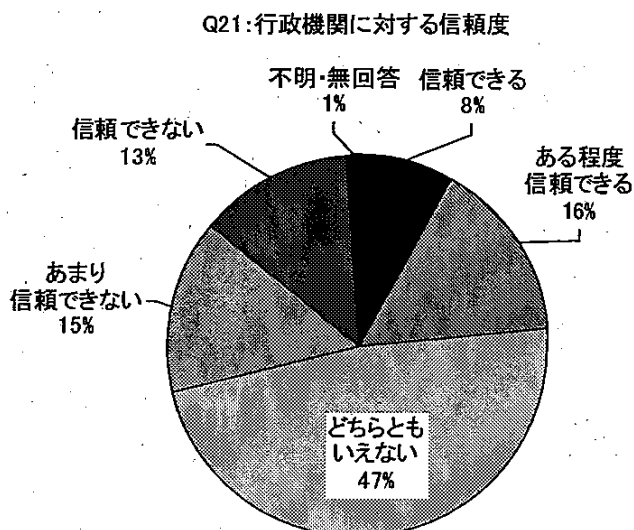
Q20：遺伝子組換え農作物・食品を開発する企業を信頼できますか。

遺伝子組換え農作物・食品を開発する企業の信頼度については、58%の回答者が「どちらともいえない」と回答したが、25%の回答者が「信頼できない」「あまり信頼できない」と回答した。



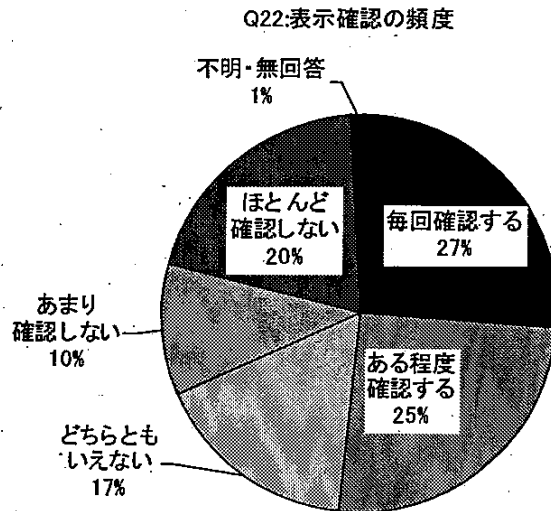
Q21：遺伝子組換え農作物・食品について安全性を審査する行政機関を信頼できますか。

遺伝子組換え農作物・食品の安全性を審査する行政機関の信頼度については、24%の回答者が「信頼できる」「ある程度信頼できる」と回答したが、28%の回答者が「信頼できない」「あまり信頼できない」と回答した。



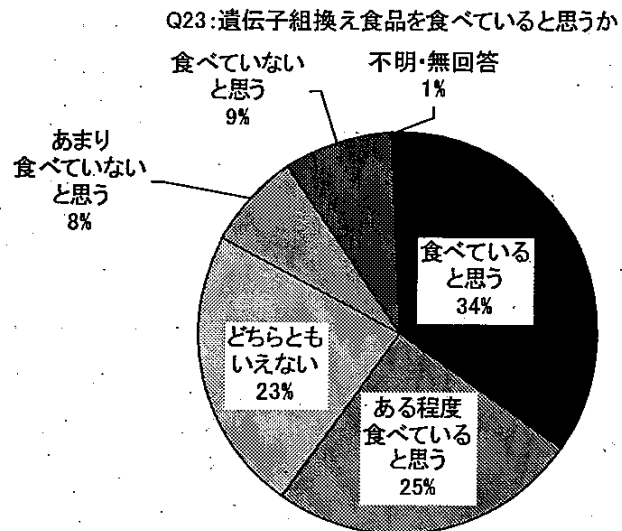
Q22：食品を購入するときに、遺伝子組換えであるかないかを表示を見て確認しますか。

食品購入時における表示の確認については、「毎回確認する」が 27%、「ある程度確認する」が 25%と高い回答を示した。



Q23：あなたは、普段遺伝子組換え農作物を加工した食品を食べていると思いますか。

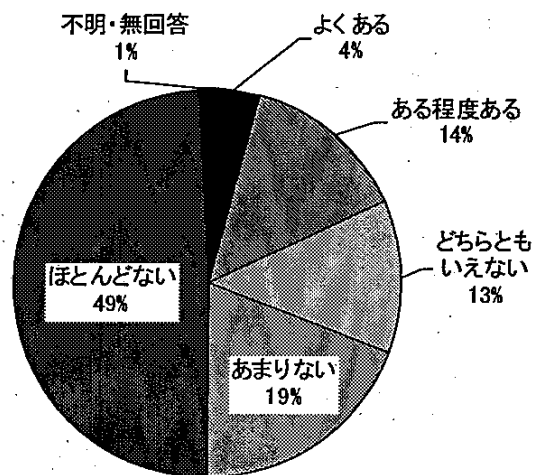
遺伝子組換え食品を食べていると思うかについては、「食べていると思う」が 34%、「ある程度食べていると思う」が 25%と高い回答を示した。



Q24：友人知人などと、遺伝子組換え技術・農作物・食品について話し合う機会はありますか

遺伝子組換えに関して話し合う機会について、「ほとんどない」が49%、「あまりない」が19%であった。実際に遺伝子組換えに関して話し合う機会は少ないと言える。

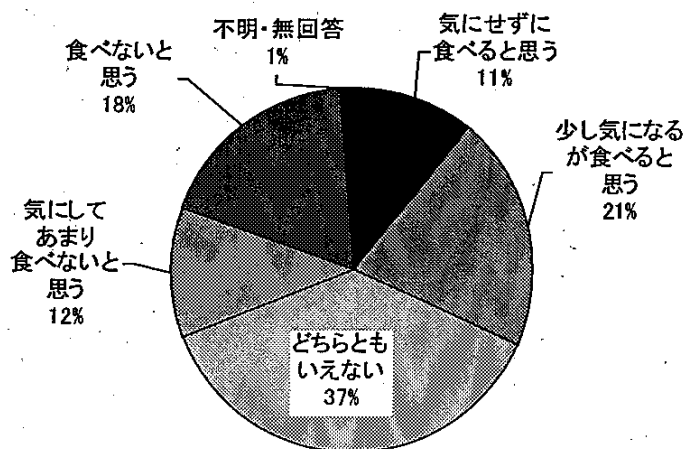
Q24: 遺伝子組換えについての議論機会



Q25：近い将来、ビタミンAが多いなど、特定の栄養分を強化した遺伝子組換え食品が開発されることが予想されます。あなたはこのような遺伝子組換え食品を食べますか。

栄養を強化した遺伝子組換え食品を食べることについては、「気にせず食べる」「少し気になるが食べる」が32%、「食べないと思う」「気にしてあまり食べないと思う」が30%であった。

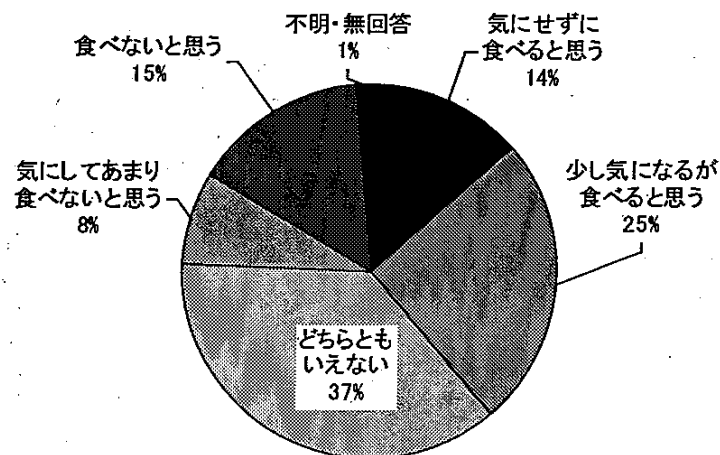
Q25: 栄養強化した遺伝子組換え食品を食べることについて



Q26：近い将来、花粉症や成人病に効果を発揮するなど、食べる医薬品としての遺伝子組換え食品が開発されることが予想されます。あなたはこのような遺伝子組換え食品を食べますか。

医薬品として効果のある遺伝子組換え食品を食べることについては、「気にせず食べると思う」「少し気になるが食べると思う」が併せて 39%と回答した。

Q26：医薬品として効果のある遺伝子組換え食品を食べることについて



Q27：近い将来、砂漠などの不適環境でも育つなど、環境修復に役立つ遺伝子組換え農作物が開発されることが予想されます。あなたはこのような遺伝子組換え農作物が開発されることを期待しますか。

環境修復を目的とした遺伝子組換え農作物の開発への期待は「期待する」「ある程度期待する」が 57%と半数を超えた。

Q27：環境修復を目的とした遺伝子組換え農作物への期待

